

# 類似規模団体との比較調査

(議員定数、議員報酬等)

議会改革推進委員会 議会のあり方検討部会  
(平成29年6月)

# ★比較調査の理由

寒川町議会の現在の定数や報酬額等が適正なのか、データが存在しない。

そのため、住民に聞かれても答えられない。

→従って、人口規模が類似する

市・町の議会の定数や報酬額等を調査し、適正性の一つの判断材料とする。

# ★比較の方法

全国1,741市町村の内、  
人口43,000人以上、  
53,000人未満の  
97自治体を抽出し、  
議員定数や議員報酬額などを比較。

★人口は平成27年国勢調査の速報値  
(寒川町は47,935人)

★議員定数や議員報酬月額、議会費等の  
数字は、各自治体の平成27年度の  
決算カードを参照

★但し、政務活動費、委員長手当、費用弁償  
については、各自治体のウェブサイトに掲載の  
条例を参照(平成29年6月調査)

# 1. 議員定数

(1) 類似規模97自治体の平均

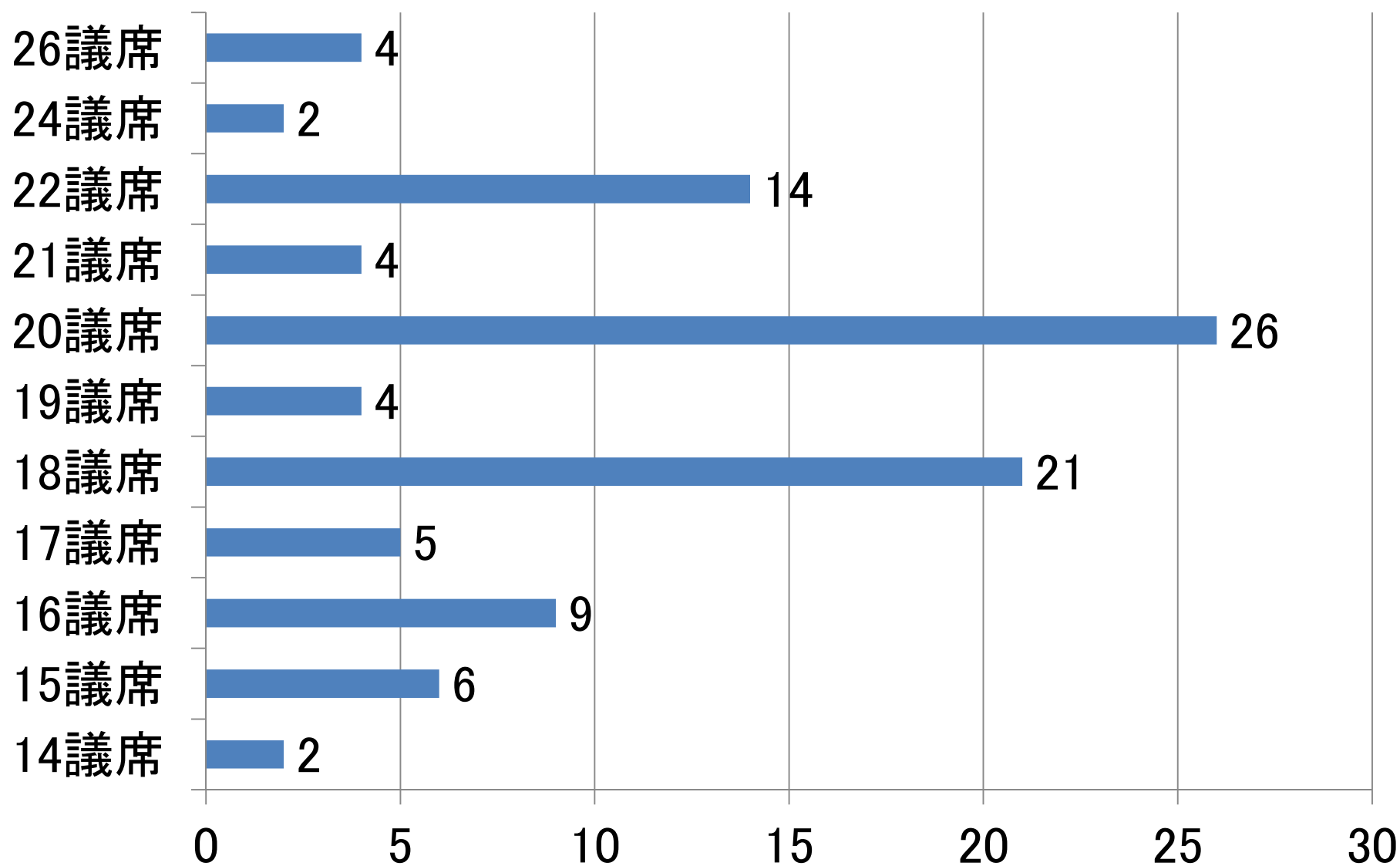
→19.2議席

(最多26議席、最少14議席)

(2) 寒川町議会は18議席

(平均より1.2議席少ない。)

## 各議席数ごとの議会数



## 2. 議員報酬

### (1) 類似規模97自治体の平均

- 議長425,700円
- 副議長367,100円
- 議員340,800円

### (2) 寒川町議会

- 議長479,000円(平均の1.13倍)
- 副議長397,000円(同1.08倍)
- 議員368,000円(同1.08倍)

報酬月額	議長	副議長	議員
50万円以上	8議会	0議会	0議会
45万円以上 50万円未満	33議会*	5議会	0議会
40万円以上 45万円未満	26議会	21議会	8議会
35万円以上 40万円未満	24議会	37議会*	38議会*
30万円以上 35万円未満	5議会	25議会	33議会
30万円未満	1議会	9議会	17議会



# 3. 政務活動費

(1) 政務活動費の交付が確認できたのは81議会  
(全体の83.5%)

→平均月額:議員1人当たり16,200円  
(4,200円~50,000円)

(2) 寒川町議会は月額20,000円  
(平均の1.23倍)

政務活動費月額	議会数
4万円以上	2議会
3万円以上 4万円未満	6議会
2万円以上 3万円未満	21議会*
1万円以上 2万円未満	39議会
1万円未満	13議会

## 4. 委員長手当

(1) 委員長手当の支給が確認できたのは28議会  
(全体の28.9%)

- 平均月額9,200円(最低2,000円、最高20,000円)
- 一般的には常任委員長と議運委員長に支給  
(常任委員長のみ支給:1議会)  
(常任、議運、特別委員長に支給:3議会)

(2) 副委員長手当を支給する議会も5カ所あり  
(1,000円~10,000円)

(3) 寒川町議会は無

## 5. 費用弁償（交通費、日当等）

- (1) 本会議や委員会、全員協議会などへの出席に対して費用弁償（交通費や日当など）を支給する議会がある。
- (2) 費用弁償（交通費や日当など）の支給が確認できたのは34議会（全体の35.1%）
  - ・定額制は22議会（最低800円、最高2,600円）
  - ・距離制は12議会（例：37円×キロ数）
- (3) 寒川町議会はなし。

## 6. 議会費

- (1) 一般会計総額に占める議会費の割合  
→類似規模97自治体の平均0.97%
- (2) 寒川町議会は1.4% (正確には1.44%)  
→全国平均より0.47ポイント高いが、  
これは寒川町の一般会計総額が  
全体平均よりも低いため。  
(全体平均222億円、寒川町143億円)

## 6. 議会費

(3) 議会費を絶対値で見た場合

① 類似規模97自治体の平均

→2億0,746万円

② 寒川町

→2億0,559万円(平均の99.1%)

議会費 年額	議会数
3.0億円以上	2議会
2.5億円以上 3.0億円未満	8議会
2.0億円以上 2.5億円未満	47議会*
1.5億円以上 2.0億円未満	32議会
1.5億円未満	8議会

## 7. 議員定数、議員報酬等のまとめ

- (1) 議員定数は平均より1.2人少ない。
- (2) 議員報酬は平均の1.08倍
- (3) 政務活動費は平均の1.23倍
- (4) 全体の28.9%に支給されている委員長手当、  
35.1%に支給されている費用弁償  
(交通費、日当等)は、寒川町議会にはなし。
- (5) 議会費は、一般会計歳出に対する比率的には  
平均の1.49倍だが、絶対値で見ると  
平均とほぼ同じ(平均の99.1%)



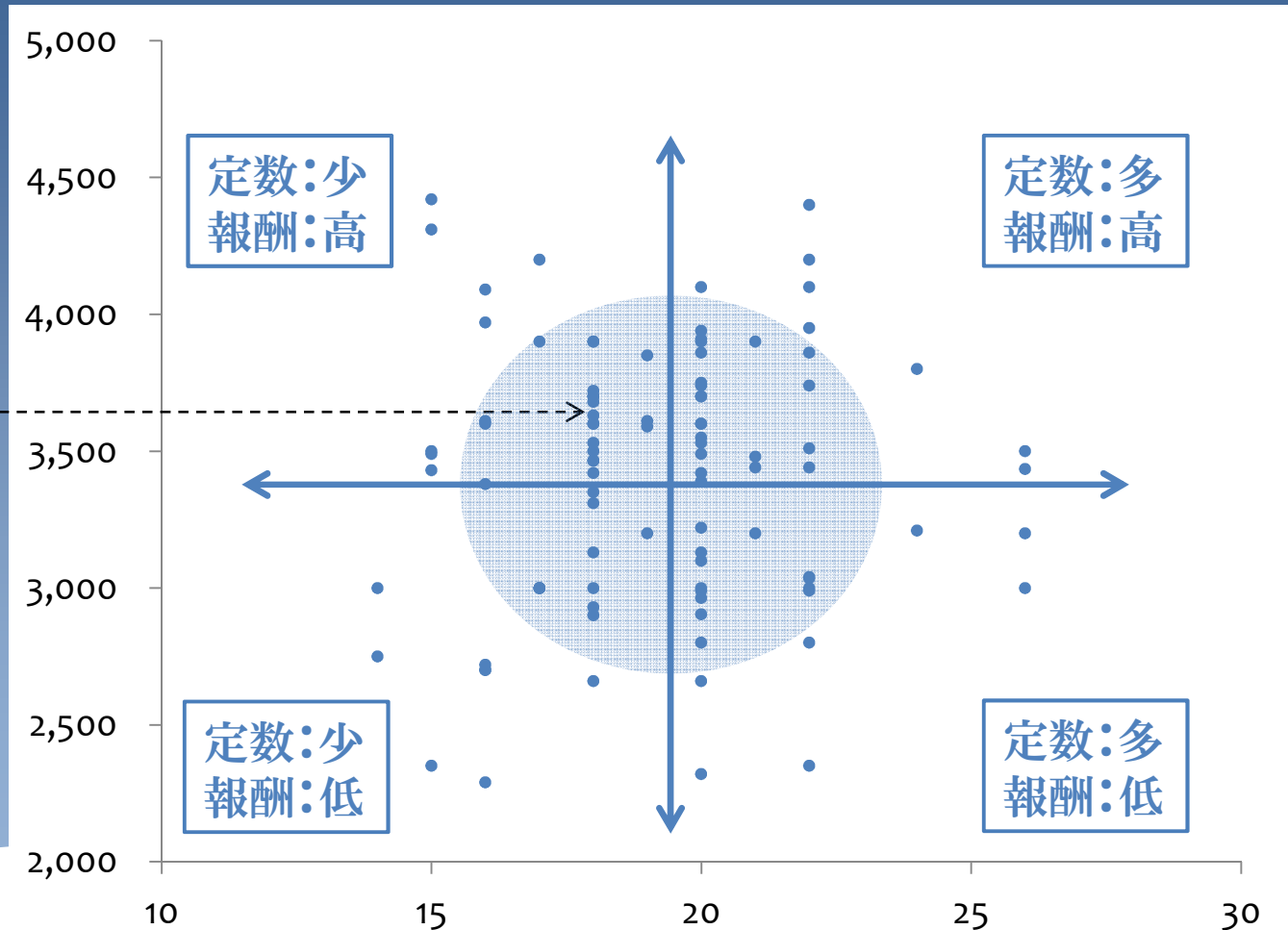
## 8. 定数と報酬との関係における4分類

- (1) 定数：多い 報酬：高い
- (2) 定数：少ない 報酬：高い
- (3) 定数：多い 報酬：低い
- (4) 定数：少ない 報酬：低い

★寒川町議会は(2)の分類に入るが、  
定数、報酬ともに平均値に近い。

★寒川町議会は「定数：少 報酬：高」の類型に入るものの、全体としては定数・報酬ともに平均値に近い。

寒川町議会



縦軸：報酬月額(百円)、横軸：議員定数。中央の円内は、定数・報酬がそれぞれ平均値の20%以内。

## ★部会の結論

(1) 寒川町議会の現在の定数、報酬額等は、概ね類似規模団体の平均に近いので、現時点では定数や報酬額等を変更する必然性に乏しい。

(2) 今後も同様の調査を定期的に実施し、適正な定数、報酬額等の検証を絶えず行っていく必要がある。

# 9. 全国の特徴的な事例

## (1) 政務活動費を廃止

### ① 兵庫県小野市（月2万円をH29.4廃止）

- ・不正受給が全国で相次いだため。
- ・今後、調査や研究に必要な費用は、その都度、議会の承認を経て議会費として支出する方針。

（神戸新聞ウェブサイトH28.12.26付）

### ② 宮城県岩沼市（年8万円をH26.4廃止）

- ・「被災された方々に少しでも寄与できるように」  
（いわぬま市議会だよりH26年10月号）

# 9. 全国の特徴的な事例

## (2) 政務活動費を後払い方式に変更

千葉県大網白里市(H29年度分より)

「議会改革及び議会の透明性を図る観点から」

(同市議会ウェブサイトより)

## (3) 政務活動費を増額

① 沖縄県宮古島市(H28.4 月額0.5→1.5万円)

② 千葉県富津市(H28.4 月額1→3万円)

③ 新潟県阿賀野市(H28.4 月額1→1.5万円)

## ★沖縄県宮古島市の事例(H28. 4)

- ①政務活動費を増額(月額0.5→1.5万円)  
「議員活動がしやすい環境づくりを推進した方が良い」
- ②常任・議運委員長手当を新設(月額9千円)  
「他の議員に比べその職責は大きい」
- ③その他の議員報酬は据え置き  
「依然として自主財源比率は低く人口減少も続いている」  
(宮古新報ウェブサイトH28. 2. 3付)

# ★千葉県富津市の事例 (H28. 4)

## ①政務活動費を増額(月額1→3万円)

「調査活動基盤の充実を図る」

## ②報酬を削減(20%減)

「昨今の社会情勢や本市の厳しい財政状況等に鑑み、自らが財政確保に取り組む姿勢を示す」

## ③議員定数を削減(18→16議席)

- ・報酬削減と同様の理由
- ・H24年にも議員定数を22→18議席に削減  
(富津市議会ウェブサイトより)

## 9. 全国の特徴的な事例(すべて月額)

### (4) 報酬引き下げ

・千葉県富津市(H28. 4)

議長53.0→42.4万円、副議長47.0→37.6万円

議員45.0→36.0万円

### (5) 報酬引き上げ

①愛知県東浦町(H27. 4)

議長37.5→38.0万円、副議長29.0→30.0万円

議員25.2→27.0万円

②群馬県沼田市(H29. 4)

議長38.3→42.6万円、副議長33.0→35.9万円

議員32.2→33.9万円



# 9. 全国の特徴的な事例

## (5) 報酬引き上げ

### ③千葉県大網白里市(H28. 10)

議長34. 1→38. 0万円、副議長30. 6→32. 0万円

議員29. 3→30. 0万円

- ・「県内類似団体と比較すると、報酬額は、低い水準」
- ・「議長の職は、副議長、議員に比べ、業務量が突出して多い」(同市特別職の報酬等審議会、H28. 1)

★同市は議員定数削減(20→18議席:H27. 9)、  
政務活動費の後払い方式の導入(H29. 4)も実施

# 9. 全国の特徴的な事例

## (5) 報酬引き上げ

③新潟県阿賀野市(H29. 4)

議長354, 500→361, 600円

副議長289, 000→294, 800円

議員266, 000→271, 300円

★同市は政務活動費も引き上げ(1→1.5万円、H28. 4)

## (6) 議員定数削減

①神奈川県三浦市(15→13議席、H27. 4)

②千葉県富津市(18→16議席、H28. 4)

③千葉県大網白里市(20→18議席、H27. 9)

# ★全国の特徴的な事例、まとめ

## (1) 政務活動費

廃止した議会もある(兵庫県小野市、宮城県岩沼市)一方、増額した議会もある(沖縄県宮古島市、千葉県富津市、新潟県阿賀野市)。

## (2) 議員報酬

引き下げた議会もある(千葉県富津市)一方、引き上げた議会もある(愛知県東浦町、千葉県大網白里市、群馬県沼田市、新潟県阿賀野市)

## (3) 議員定数

削減した議会はある(神奈川県三浦市、千葉県大網白里市、千葉県富津市)が、増やした議会はない。